

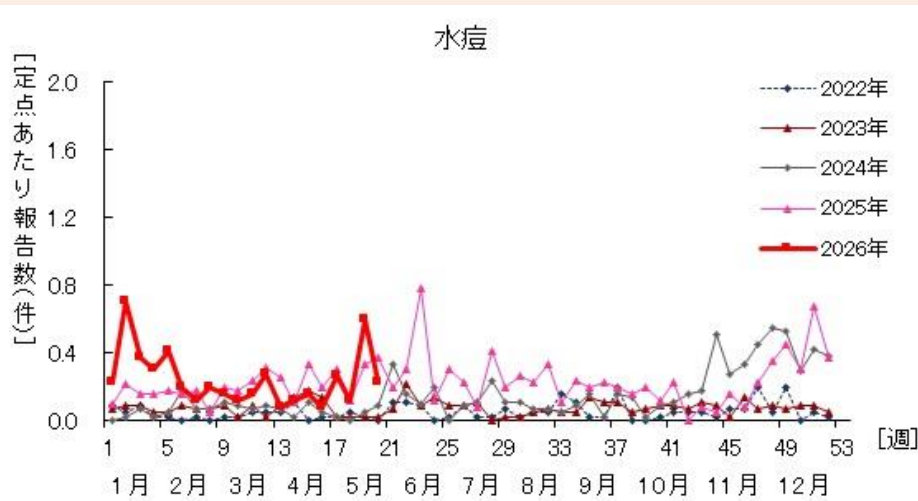


## 発生動向等サーベイランス情報

### 水痘(水ぼうそう)について



◀水痘  
(栃木県 HP)



▲栃木県における水痘の定点あたり報告数の推移  
2022年第1週～2026年第20週 (2026年5月21日現在)

県内では、2026年第19週(5月4日～5月10日)の定点あたり報告数が県西・県北地区で注意報レベルになりました。現在は落ち着いている状況ですが、引き続き注意が必要です。

予防にはワクチン接種が有効であり、1～2歳を対象に定期接種が行われています。

また、水痘患者に接触した場合でも、72時間以内にワクチンを緊急接種することで、発症予防や症状を軽減できる可能性があります。医療機関に相談してください。

## 感染対策のポイント

### シリーズ23:水痘ウイルスと高齢者

水痘(水ぼうそう)の原因である水痘・帯状疱疹ウイルスは、名前の通り帯状疱疹の原因にもなります。初めての感染では「水痘」として発症しますが、治癒後もウイルスは体内の神経節に長期間潜伏します。その後、免疫機能が低下した際にウイルスが再活性化し、特定の神経に沿って痛みを伴う水疱を作ります。これが「帯状疱疹」です。特に高齢者はリスクが高まります。辛い痛みの後遺症を残さないために、早期の診断・治療が必要です。



### 感染症専門家からのアドバイス

水痘は、感染者の飛沫から水分が蒸発した「飛沫核」が空気中を広範囲に浮遊し、それを吸い込むことで感染する「空気感染」の形態をとります。一方、帯状疱疹は通常、空気感染を起こすことはありません。しかし、極度の免疫不全がある方や、水疱が広範囲に出る「汎発性帯状疱疹」の場合は、例外的に空気感染を引き起こす可能性があるため注意が必要です。